

「価値ある時間」

北海道おといねっふ美術工芸高等学校長

小幡 圭二

雪深い音威子府にもようやく春の気配を感じる頃となりました。雪どけの隙間から顔を出す道端の草の芽を見つけるたびに、生命の力強さとエネルギーを感じます。

3月1日、卒業生36名はそれぞれの未来に向かって巣立って行きました。3年間の様々な思いが込められた答辞を聞いて、おといねっふ美術工芸高校での学びの成果を実感し、おと高生一人ひとりを誇らしく思いました。4月に新入生を迎えますが、1、2年生は先輩としての自覚を持ち、日々の努力を積み重ねて成長して欲しいと願っています。

さて、「NHKひるブラ」でおと高が取材されたのは記憶に新しいと思います。元AKB48秋元才加さんの来校をきっかけにAKB48について調べてみると、NHK朝の連続テレビ小説の主題歌「365日の紙飛行機」を歌っていたと知りました。そして、その歌詞がとても素晴らしく、その中の一節が特に印象的でした。

「その距離を競うより どう飛んだか どこを飛んだのか それが一番大切なんだ」

紙飛行機は距離を競うより、どう飛んだか、どこを飛んだかが大切で、飛びかたに本当の価値があるのだと言っています。学校生活に置き換えると、学びの中で次々と結果を出せる人もいますが、思うような結果に結びつかない人もいます。勿論、結果が良いに越したことはありませんが、目標に向かって努力する過程に価値があるのではないのでしょうか。焦らず、慌てず、でも決して諦めない直向きな毎日に、価値ある時間が流れるのだと思います。それが必ずや未来の大きな成果に繋がるのです。

みなさんは、新年度をどのように過ごすのでしょうか。紙飛行機にたとえると、どこをどのように飛ぶのですか。ぜひ、一人ひとりが日々の価値ある時間を過ごし、それを積み重ねて学校生活を充実させて欲しいと思います。

まずは、春休みの家族との時間を大切に、しっかりと充電してください。

保護者や地域の皆様には、日頃から本校教育活動にご理解とご協力をいただき有り難うございます。お陰をもちまして、平成27年度を無事終了することが出来ました。また、3年間音威子府村でお世話になりました36名が3月1日に卒業し、学窓を巣立って行きました。皆様の温かいご支援に心から感謝申し上げます。

これからも、おといねっふ美術工芸高校に学ぶ子どもたちのために教職員が力を合わせて努力する所存ですので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



学校だより

No.5

平成28年3月24日
発行

「一年間を振り返って」

PTA会長 志村 正美

PTA会長という大役にもかかわらず至らぬ点ばかりでしたが、保護者の皆様や先輩役員の方々、校長先生をはじめとして先生方の温かいご支援ご協力を賜りながらPTA活動を終えることが出来ました。

また、人生において貴重な経験を得られ、財産となったことに感謝お礼申し上げます。

私は、学校祭前に体調を崩し、黒川副会長に会長の代行をしていただき、学校祭でのPTAバザーを保護者の皆様のご協力で成功させていただいたことを本当に感謝しております。

保護者の皆様には、今後も色々なPTA活動にご協力をよろしくお願いいたします。

一年間、本当にありがとうございました。

〒098-2501
北海道中川郡
音威子府村
字音威子府
181番地の1

WHY OTOKOH STUDENTS?

教務部長 川添 龍一

今までに、やる気が出なくて中途半端な結果しか出せなかったり、投げ出してしまったりしたことはありませんか？特に気分が乗らない時ほど、やらされている感溢れますよね。また自分でやると決めていないことは、たいていうまくいかないし、失敗したら「決めた人のせい」って思ってしまったことも、ありませんか？私もあります。

「何でこんなことやらなきゃいけないんだ！意味ないじゃん！」そう思ったことは数知れず。でも、結局やらなきゃいけない。そして結果を出せない・・・悪循環です。その一方で、自分の好きな事は寝る時間も惜しんで出来ちゃいます。結果が出れば、すぐうれしいし、周囲の人に見てもらいたい！・・・

WHY OTOKOH STUDENTS! (おと高生、どうして?)

なぜやる気に偏りが出てしまうのか、簡単に言うと「モチベーション」のせいですよ。モチベーションがあれば、些細な事にも頑張れてしまいますし、なければ大切な事も頑張れなくなります。

人が何か行動を起こすときの原因や動機、つまり「やる意味」を、モチベーションと言いますが、簡単に言うと人を動かす原動力です。これは、人から一方的に与えられるものではなく、自分自身から湧き上がってくるものです。自分で決めて、自分で取り組んでいる時ほど、モチベーションは高くなります。

学校の課題、自分から取り組むのではなく、人からやらされていませんか？寮生活、注意されなければそれでいいと思っていないですか？

WHY OTOKOH STUDENTS! (おと高生、どうして?)

皆さんは、何のためにおと高に来たのですか？そして、どうしてその課題をやらなくてはいけないのですか？これができるようになったら、その先、何が変わるというのですか？

この1年間、寮の学習時間をうまく活用できていない人がいました。また、忘れ物も相変わらずありました。その一方で、成果を出した人もいました。成果をあげた人に共通するのは、人に言われてやったのではなく自ら動き、一つ一つの取り組みの目的を明確に持ち、コツコツと努力を重ねた、という点です。

4月から新学期、まず将来の夢を、1年の目標を確認しましょう。そしてそれを実現させるために、自分から動きましょう。自ら動くことで、モチベーションが高くなるはずですよ。新学期からの一人ひとりの活躍を期待しています。

4月行事予定

- 7日(木) 2・3年帰寮
- 8日(金) 着任式、前期始業式、全校集会、入寮式
- 9日(土) 第33回入学式、PTA体文総会
- 12日(火) 個人写真撮影
- 13日(水) 生徒会対面式
- 14日(木) 2計測・視力・聴力検査(全学年)
- 18日(月) 結核検診(1学年)
- 20日(水) 内科検診(3学年)、心電図検診(1学年)
- 22日(金) 見学旅行結団式
- 25日(月)～29(金) 見学旅行(3学年)

【転出者】

小幡 圭二	校長先生	北海道旭川工業高等学校へ
大木 民郎	先生	北海道札幌白石高等学校へ
福澤 等	先生	北海道旭川工業高等学校へ
土井 佑弥	先生	北海道江差高等学校へ

【編集後記】

平成27年度も無事終了し、多くの方々のご理解とご協力、多大なるご支援をいただいた事に心から感謝申し上げます。

休業中に、新3年生は保護者と進路について話しをたくさんして下さい。新2年生は、貴重な時間を次の目標を決める有意義なものにして下さい。4月には、新入生が40名入学し、また、新しい先生方を迎え、新生「おと高」がスタートします。新学期への準備をしっかりと行い、村に戻ってきてください。

生徒指導部から

生徒指導部長 大木 民 郎

生徒諸君、皆がそろっての進級おめでとうございます。新年度を健やかに迎えられるよう、祈ります。

さて、今年度に作った物を考えてみましょう。→スツール、ミニチェスト、木工作品、素描、油彩画、絵巻、製図、部活の作品、動物車、パズル、スプーン、蛇腹、鍋敷き、のみ箱、彫刻刀箱、真鍮ナイフ、ストラップ、紙工作、陶芸、クロッキー、風景画、自画像、色彩表…。自主制作品…。

今年度にできるようになったことを考えてみましょう。→国語、数学、社会、理科、英語の学習項目、樹種の名、手道具の扱い、工作機械の扱い、刃物研ぎ、止血理論、球技、水泳、スキー、ランニング、コンピュータの扱い、読書、作文、詩作、ダンス、演技、歌唱、演奏…。朝食を食べること、時間を守って学習すること、部屋の整理整頓、積極的な清掃、課題を期限内に提出して、忘れ物がなくなる、履き物をそろえること、身だしなみを整えること、節度のある男女交際、けじめのあるスマホ、インターネット、欠席・遅刻がない、体調を崩さない…。

「できなかったことができるようになった」が大切なことです。

以前は服装等の乱れを気にせずいたのに、自ら「直したいので」と申し出るようになってきた生徒を知っています。

英語が苦手を書いたり喋ったりできなかったのに、提出物の英語を頑張って書いた生徒を知っています。提出遅れや忘れ物が多かったのに、段々できるようになってきた生徒を知っています。制作でも課題でも「及第点までできている」状態だったが、練習を積んで「もっとできる」ようになった生徒を知っています。「時間があるから、もう一個制作してみよう」と取り組んだ生徒を知っています。

”あと一歩だけ、前に進もう。” /スガシカオ 「Progress」 そんな人に、なりたいですね！

進路指導部から

進路指導主事 福 澤 等

今年度も無事、年度末を迎え、1・2学年の生徒が揃って進級する運びとなりました。「…何を当たり前のことを」とお思いでしょうか？では、来年・再来年の今頃は皆さんどうしているでしょう。当たり前自分の進む大学や企業が用意されていると思いませんか？

残念ながら本校でも、私の知る限り毎年『進路未決定者』を数名卒業させております。中には難関校に挑戦し、来年度再チャレンジする生徒や、自らの意志で未決定を選択した生徒もおります。しかし、自分の『居場所』が決まらないまま春を迎えることがどれだけ不安と絶望感に満ちたものかは、実際に体験した者にしかわからないことでしょう。

一緒にいた仲間達が希望に満ちた新しい道を進む中、自分だけが立ち止まり、次の年に行き場所が決まる保証もない。『高校生』という肩書きをも失い、自分は何者なのか…という問いを自分に投げかけ、社会から隔絶された感覚を覚える…。

では、そうならないために今、何ができるでしょうか？

本校の目指す生徒像のひとつに「夢を創造し、未来へ向って前進する生徒」というものがあります。しかし、多くの生徒は夢を『創造』ならぬ『想像』ばかりしていて、前進する努力をしていないのではないのでしょうか？

もう一度伺います。今、何ができるでしょうか？

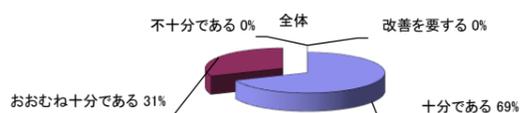
わからない人は、できるだけ早く先生方に相談してください。夢を『創造』し、未来へ向って前進するために。

学校評価アンケート

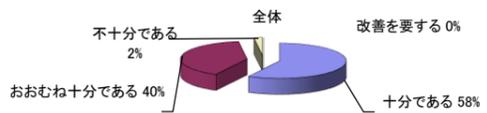
(保護者全体)

概要)

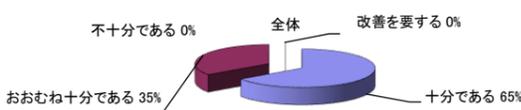
1 魅力ある学校づくりがなされていると思いますか。



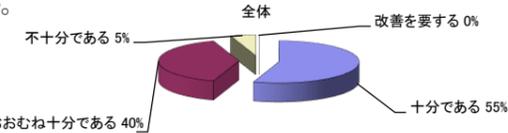
2 Webページなどで公開していますが、教育目標や教育方針は、生徒や保護者に理解されていると思いますか。



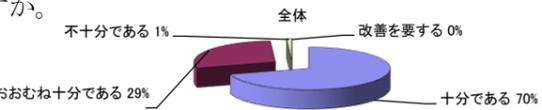
3 造形体験を重ね創造力を育成する教育が行われていると思いますか。



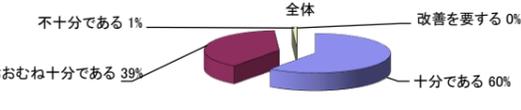
4 個性を伸ばし心を豊かにする教育が行われていると思いますか。



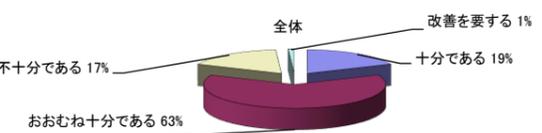
5 工芸科としての教育内容は生徒の成長に有意義だと思いませんか。



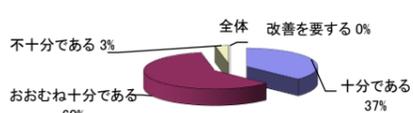
6 教員は熱心に教育活動に取り組んでいると思いますか。



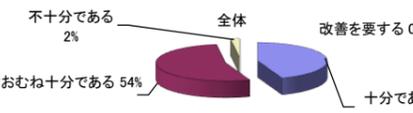
7 学力(実技科目を含む。)は定着していると思いますか。



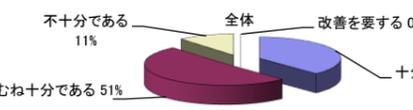
8 基本的な生活習慣は定着していると思いますか。



9 生徒理解や教育相談、いじめへの取組は十分に行われていると思いますか。



10 進路実現に向けた進路指導は十分に行われていると思いますか。



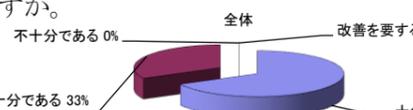
11 健康教育や安全教育は十分に行われていると思いますか。



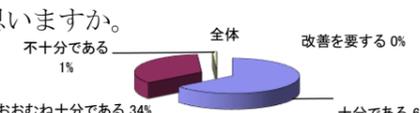
12 防災、防犯、交通安全について適切な配慮がなされていると思いますか。



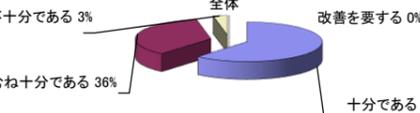
13 生徒会活動や部活動は活発に行われていると思いますか。



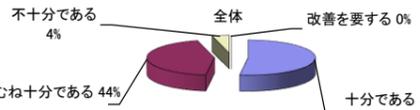
14 地域へのボランティア活動は十分に行われていると思いますか。



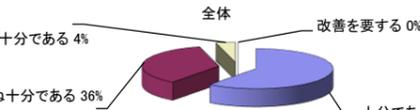
15 地域連携や学校間連携は十分に行われていると思いますか。



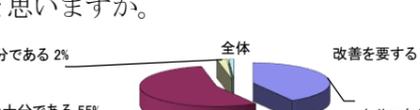
16 学校情報は地域や保護者へ十分に提供されていると思いますか。



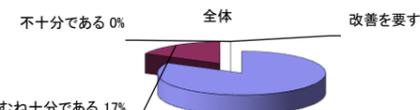
17 寮の運営は適切に行われていると思いますか。



18 昨年度の学校評価に基づいて学校改善を進めていると思いますか。



19 本校に入学させて良かったと思いますか。



《まとめ》

「5 工芸科としての教育内容は生徒の成長に有意義だと思いませんか。」の項目で、十分であるが昨年より大きく増加している。工芸科の学習内容の理解が生徒の成長により保護者に実感されている。特に今年度の「7 学力は、定着していると思いませんか」の項目で、不十分・要改善の合算が前年度よりも増加し、保護者も基礎的な学力への不安があるようだ。今後、生徒の実態に合った学習指導と評価の工夫改善を行い、基礎学力の向上に努めることが求められる。また、「18 本校は、昨年度の学校評価に基づいて、学校改善を進めていると思いませんか」と「19 本校に入学させて良かったと思いませんか」の項目で、十分であるが昨年より減少していることが気になる。今後、生徒たちの学びに応える教育活動の一層の充実が求められる。アンケートにご協力、ありがとうございました。